



PRICE-KUMI

鉄
工
ヤ
ス
リ

組
ヤ
ス
リ

技
能
五
輪
検
定
マ
シ
ン

コ
ー
テ
ィ
ン
マ
シ
ン

精
密
ヤ
ス
リ

ダ
イ
モ
ン
ド
マ
シ
ン

の
こ
ヤ
ス
リ

波
目
ヤ
ス
リ

鬼
目
ヤ
ス
リ

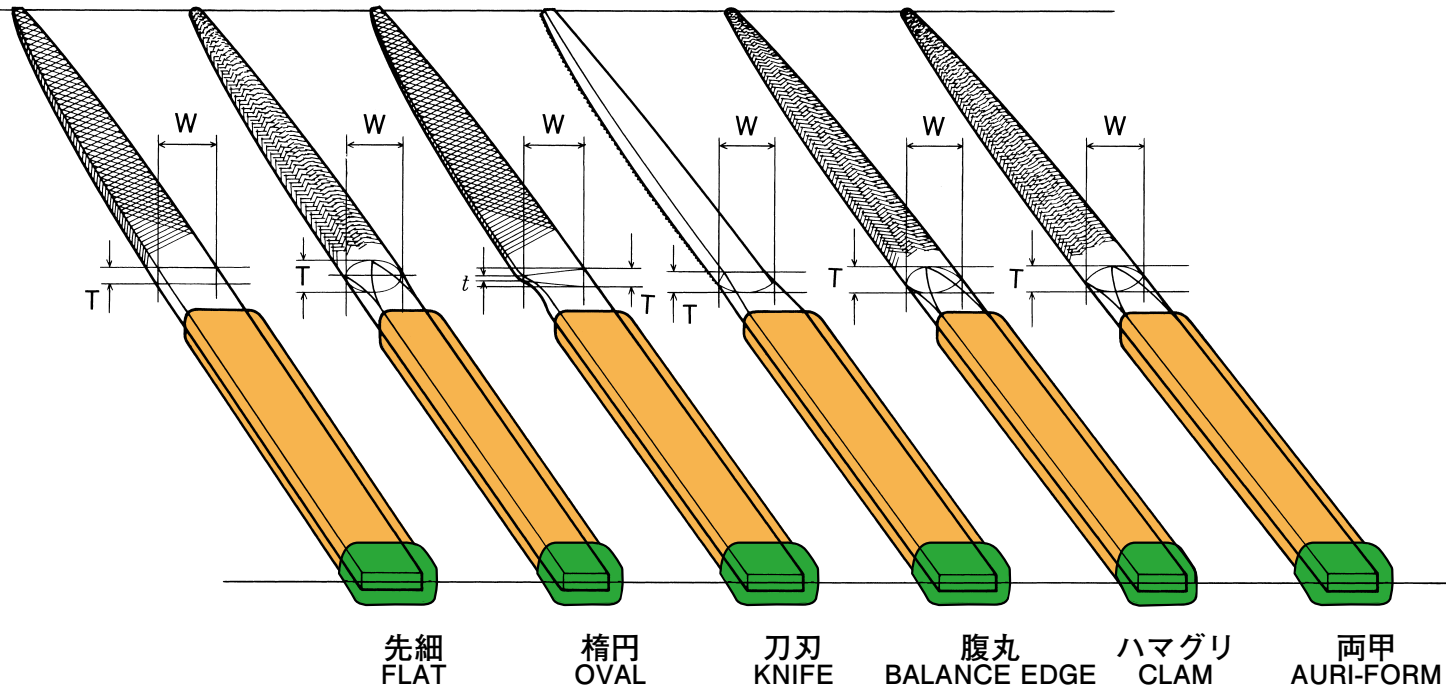
修
正
ヤ
ス
リ

電
動
ハ
イ
ト
磨
き
マ
シ
ン

そ
の
他

外
国
製
ヤ
ス
リ

付
録



先細 FLAT	楕円 OVAL	刀刃 KNIFE	腹丸 BALANCE EDGE	ハマグリ CLAM	両甲 AURI-FORM	1箱入数 No. / BOX
W × T mm	W × T mm	W × T × t mm	W × T mm	W × T mm	W × T mm	BOX COLOR
(11) × (3.5)	(11) × (6.5)	(13) × (3.5) × (2.0)	(12) × (3.5)			BOX 25 pcs
1.50	1.80	1.48	1.48			CARTON 600 pcs
(5)	(5)	(5)	(5)			SH 005 ** DE 005 ** KH 005 ** HM 005 **
9 × 3.0	9 × 4.5	(11) × (3.0) × (1.5)	(9.5) × (3.0)			BOX 40 pcs
1.40	1.62	1.60	1.62			CARTON 800 pcs
8	8	(8)	(8)			SH 008 ** DE 008 ** KH 008 ** HM 008 **
7 × 2.5	7 × 3.4	8.2 × 2.5 × 1.0	7.3 × 2.5			BOX 50 pcs
1.32	1.24	1.20	1.30			CARTON 1000 pcs
10	10	10	10			SH 010 ** DE 010 ** KH 010 ** HM 010 **
4 × 2.0	4 × 2.5	4.5 × 2.0 × 1.0	4.2 × 2.0	4.2 × 2.2	4.0 × 2.2	BOX 60 pcs
0.76	0.82	0.72	0.70	0.78	0.82	CARTON 1200 pcs
12	12	12	12	12	12	SH 012 ** DE 012 ** KH 012 ** HM 012 ** HG 012 ** RK 012 **



END-CAP

- 荒目 Bastard Cut 1
- 中目 2nd. Cut 2
- 細目 Smooth Cut 3
- 油目 D. Smooth Cut 4

やすり八題 ②

荻山 信行

馬の歯形

古墳から出土する鉄器は、全体が錆(さび)に覆われているので、表面形状は分からないことが多い。そのような理由で「確実にやすりと認められるものは、国内では出土していない」といわれているのではないだろうか。

国内で出土している唯一のやすりらしき物は、倉敷市の倉敷考古館に展示してある。

この物は総社市西阿曾の随庵古墳(五世紀後葉)から鉄鉗(かん)、鉄床、鉄鋸(ついで)、砥石(といし)などと一緒に出土している。「外観は全長34.5㌢、そのうち柄部6㌢は木柄の痕跡をとどめている。身部は幅3㌢、厚さ5㌢の短冊形品で、先端にも両側にも刃はついていない。完全品があって、用途は不明である。あるいは鋸ではないかと思っている。しかし、錆化していてそれを確かめ得ない」と報告書は結んでいる。

鍛造工具や砥石と一緒に出土していることなどから考えて、この物はやすりであるとしても不合理はないと思う。

例えば、刃物(鉄器)を作ることを想定してみよう。鍛造であらかたの形を作り、次にやすりで形を整え、最後に砥石で仕上げの研磨をする。この工

程からやすり作業を省くと、砥石での研磨に時間がかかり過ぎて非常に無理がある。砥石での仕上げ前に、やすりがけが必要なのである。

五千年の歴史を持ち、冶(や)金技術をリードした中国では、四本の銼(やすり)が出土している。

河北省の満城漢墓(BC113年)から出土した銼の報告書は、次のように説明している。「細長い形で一端が破損している。片面の半分は横平行にやすり歯が刻まれていて、1㌢の中に六個の歯がある。現在の『馬歯形やすり』に類似しており、木やすり類に属する。残っている長さは20.4㌢、幅1㌢、厚さ0.3~0.5㌢である」

日本の『和漢三才図会』に出ている雁鉗鋸(がなぎやすり)に非常によく似ている。中国では馬の歯形と表現し、日本では石段のガンギだと形容している。(広島県立西部工業技術センター主任研究員=呉市)

緑地帯 3. 9. 27 中国新聞より